

	～大泉地域の昔なつかしい風景を再現～ 「橋戸田んぼ」で小学生が田植えを体験！
と き	6月14日(水)、15日(木)
と ころ	区立大泉橋戸公園（大泉町2-9-34）
<p>14日(水)と15日(木)、区立大泉橋戸公園（大泉町2丁目）内の水田で、周辺の小学校3校（大泉第一小学校、大泉北小学校、橋戸小学校）の5年生176人が田植えを体験した。</p> <p>この水田は、近隣の小学校や地域団体から、かつてあった地域の風景を復元したいという強い要望を受けて区が整備したもので、「橋戸田んぼ」として親しまれている。</p> <p>田んぼの管理運営は、地域の橋戸水田自主管理会（会長：田中 好雄）が主体となって行っており、平成24年の開園以来、3つの小学校の児童が稲作を体験している。</p> <p>田植えした稲は管理会によって育てられ、秋には児童が稲刈り体験も行い、収穫したお米を味わう予定。</p>	



▲当日の様子

【当日の様子】

児童は靴下で田んぼに入り、苗が一行に並ぶよう目印に沿って植えていった。管理会の方から「苗は、ぎゅっと力を入れてまっすぐ植えてね」などとアドバイスを受けながら、児童は慣れない泥の中での作業に奮闘した。

膝下まで泥に浸かり、「冷たい」、「足が抜けない」と初めての体験に戸惑っていたが、何度も挑戦するうちにコツを掴んだ児童も見られ、各校担当の田んぼいっばいに苗を植えていった。また、泥に浸かりながら、腰をかがめる作業に「お米を作ることの大変さがわかった」という声も聞かれた。

同会会長の田中 好雄さんは「子どもたちの笑顔が何よりの楽しみで、励みとなります」と話し、児童が田植えをする様子を嬉しそうに眺めていた。

※各校の参加人数(14日:大泉北小学校 88人、15日:大泉第一小学校 43人、橋戸小学校 45人)

【橋戸田んぼについて】

区立大泉橋戸公園の「田んぼ」は、園内に残る弁天池の湧水を活用し、かつて白子川流域で営まれていた水田を復元整備したもの。水田面積は230㎡で、6枚の田んぼに分かれている。

【橋戸水田自主管理会について】

平成24年に結成された組織で、大泉町近隣の3校（大泉第一小学校、大泉北小学校、橋戸小学校）の児童が米作りの体験を通じて、学校間の交流や地域コミュニティの醸成に寄与することを目的として、田植え体験指導をはじめ、除草や水量調整といった水田の全般的な維持管理を行っている。

これまでも「橋戸の田んぼのことを子どもたちに少しでも知ってもらえれば」との思いで、種まきや田起こし、代かきを実施し、田植え体験に向けて準備を進めてきた。

【問合せ】

練馬区 都市農業課 農業振興係

電話 03-5984-1403